

様式 1-6

整備事業（産地競争力の強化）（長野県 平成22年度事業）

2. 整備事業
I. 産地競争力の強化を目的とする取組用

(長野県 平成22年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー ① (対象作物・畜種等名) ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー ② (対象作物・畜種等名) ②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成21年)	1年後(平成22年)	2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率				計画時(平成21年)	1年後(平成22年)	2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
松本市	松本ハイランド農業協同組合	土地利用型作物(稲(新規需要米を除く))	集荷量のうち中食・外食用等向け原料用等の契約取引量の30ポイント以上増加	0 t /690t=0%	22.4t /690t=3.2%	9.21t /1087.5t=0.8%	520 t /1714.6t=30.3%	490 t /1,605t=30.5%	99.3%	土地利用型作物(稲(新規需要米を除く))	物財費を現状より10%削減する	109,339円/10a 慣行栽培物財費	109,339円/10a 慣行栽培物財費	100,817円/10a 慣行栽培物財費	94,873円/10a 慣行栽培物財費	98,405円/10a 物財費	132%	乾燥調製施設 鉄骨造一部2階1棟1,023.62㎡ 粉摺機2式 色選別機2式、サイロ4基 付帯設備一式	666,855,000	272,095,000	0	0	394,760,000	平成23年3月31日	施設の増強により、荷受能力の機能アップと処理能力が向上し、適期刈取期間の収穫が図られ品質が向上し、実需者の要望に見合う品質の製品供給の取引契約に結び付いたことから効果は十分確認された。 物財費については土壌改良剤の見直しを行いコスト削減を図ることができた。	契約による取引量の増加割合については概ね目標のとおり増加しており、取扱量としては目標より多い取扱量となっている。物財費の削減については、目標以上に削減がされており目標は達成された。				
松川村	(有)かぼちゃやま農場	地産地消(米、野菜、果樹ほか)	事業実施主体の全出荷額に占める村内向け出荷額の割合を13ポイント以上増加	77.4% (H20)	79.5% (H22)	91.00%	92.70%	37,700/41,700=90.4%	117.7%	地産地消(米、野菜、果樹ほか)	受益農業者の全出荷額のうち生産地区内の直売施設等における農畜産物等の販売額の占める割合を109%増加	68,900千円 (H20)	76,600千円 (H22)	75,889千円	80,206千円	144,112千円	15.0%	農畜産物の割合が増加した 当直売所において受益農家の生産地区内で生産物及び農産加工品取扱金額が75%以上	農産物直売・加工・地域食材供給施設 228.21㎡	52,267,000	15,000,000	0	0	37,267,000	H23.3.20	施設を建設したことによる村内向けの出荷は増大しているが、販売額については、近年の景気低迷や近隣の国営アルプス安曇野公園の観光客が想定されたよりも少ないことなどから目標に届かなかった。今後は直売所・加工所の販売品目の増加、出荷者の増加等に向けた改善対策を、村及び村営農支援センター・村地産地消協議会等の関係組織と連携を図りながら支援する。	施設導入により村内向け販売額は増加している。加えて観光客等に対する農産物の販売も定着してきているが伸び率は低い。今後は直売所・加工所の販売品目の増加、出荷者の増加等に向けた改善対策を、村及び村営農支援センター・村地産地消協議会等の関係組織と連携を図りながら支援する。			
長野県	長野県	家畜改良増殖家畜改良増殖関連施設(牛肉)	信州プレミアム牛肉の年間出荷量を100%増加	2,500kg	1,974kg	5,255kg	6,797kg	5,000kg	171.8%	信州プレミアム牛肉の年間出荷量が100%以上増加した。	家畜改良増殖家畜改良増殖関連施設(牛肉)	繁殖供用した雌牛の平均初産月齢が4.0%以上短縮	24.6ヶ月	24.0ヶ月	22.8ヶ月	23.1ヶ月	23.6ヶ月	150.0%	繁殖供用した雌牛の平均初産月齢が4.0%以上短縮した。	超音波診断装置一式	892,500	438,000	454,500	0	0	H22.9.17	信州プレミアム牛肉の年間出荷量、繁殖供用した雌牛の平均初産月齢とも目標を上回り達成することができた。	年々信州プレミアム牛肉の出荷量が増えており、今後の増加が期待される。初産分産月齢は極端に短くすることはできないが、24ヵ月齢未満の維持が期待される。		

都道府県平均達成率 114.30% 総合所見 県平均では平均達成率114%と成果目標が達成された。達成できなかった取り組み「受益農業者の全出荷額のうち生産地区内の直売施設等における農畜産物等の販売額の占める割合」については、直売所・加工所の販売品目の増加、出荷者の増加等に向けた改善対策を、村、村営農支援センター及び県現地機関等の関係組織が連携を図りながら支援していく。

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。